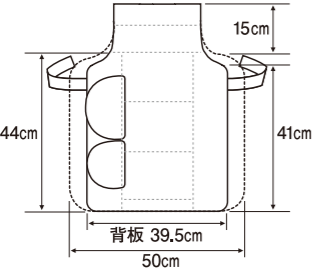
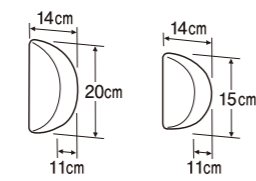
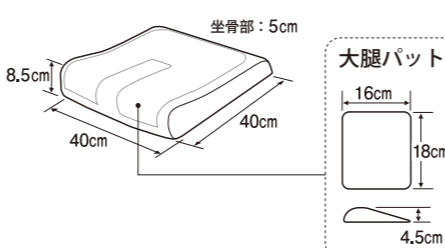


●仕様

名称	背ソフトクッション	サイドパット・骨盤パット	座クッション
寸法		サイドパット 骨盤パット 	座クッション 
重量	520g	サイドパット:85g×2 骨盤パット:70g×2	1,280g
素材	背ソフトクッション: ポリエステル、ナイロン、 ウレタンフォーム 背板:ポリエチレン樹脂	カバー: ポリエステル パット: ポリエチレン発泡体	カバー:ポリエステル、 ナイロン(ウレタン樹脂塗布) クッションパット:低反発高密度ウレタンフォーム 座本体・大腿パット:ポリエチレン発泡体
TAISコード	FC-アジャスト フルセット:00149-000007 FC-アジャスト 標準セット:00149-000008	FC-アジャスト 背クッションフルタイプ:00149-000026 FC-アジャスト 背クッション標準タイプ:00149-000027 FC-アジャスト 座クッション:00149-000028	
JANコード	FC-アジャスト フルセット FC-アジャスト 標準セット FC-アジャスト 背クッションフルタイプ FC-アジャスト 背クッション標準タイプ FC-アジャスト 座クッション	ブルー:4560232693211 ブルー:4560232693112 ブルー:4560232693419 ブルー:4560232693518 ブルー:4560232693310	グリーン:4560232693228 グリーン:4560232693129 グリーン:4560232693426 グリーン:4560232693525 グリーン:4560232693327

●手入れの方法

洗濯

- 背ソフトクッション及び各パーツのカバーは、ファスナーを開けて背板やクッション材を取り出し、洗濯ネットに入れて洗濯機の弱流で洗い、軽く脱水してください。
※面ファスナーが引っかからないように、オス面・メス面を合わせて洗濯してください。
- 乾燥は、日陰で自然乾燥し、絶対に乾燥機は使用しないでください。
アイロンをかける場合は、必ず当て布の上から中温でアイロンをかけてください。
- サイドパット、骨盤パット、及び座クッションの各パーツが汚れた場合、水で薄めた中性洗剤で拭き取るか、やさしく手洗いし、水分を軽くふき取ってから日陰で自然乾燥してください。

消毒

- 背ソフトクッション及び各パーツのカバーは、逆性石鹼(オスバン液)での消毒、オゾン消毒が可能です。
- クッションは、逆性石鹼(オスバン液)での消毒、オゾン消毒が可能です。シミや汚れがひどい場合は、薄めた塩素系漂白剤に浸けて漂白してください。

保管

- 汚れを取り除いてから、よく乾燥させて保管してください。
- 高温、多湿、直射日光の当たる場所では保管しないでください。変形や変色の原因となります。
- 重量物を乗せた状態で保管しないでください。へたりや変形の原因となります。

アイ・ソネックス

本社 / 〒702-8004 岡山県岡山市中区江並 100-7
 関西営業所 / 〒651-1332 兵庫県神戸市北区唐櫃台 2-9-5
 中部営業所 / 〒930-0304 富山県中新川郡上市町森尻 477
 ホームページ <https://www.nasent.net>

TEL: 086-200-1550 FAX: 086-200-1553
 TEL: 078-385-4346
 TEL: 076-472-0932

品質向上のため、お断りなく仕様を変更することがありますのでご了承ください。

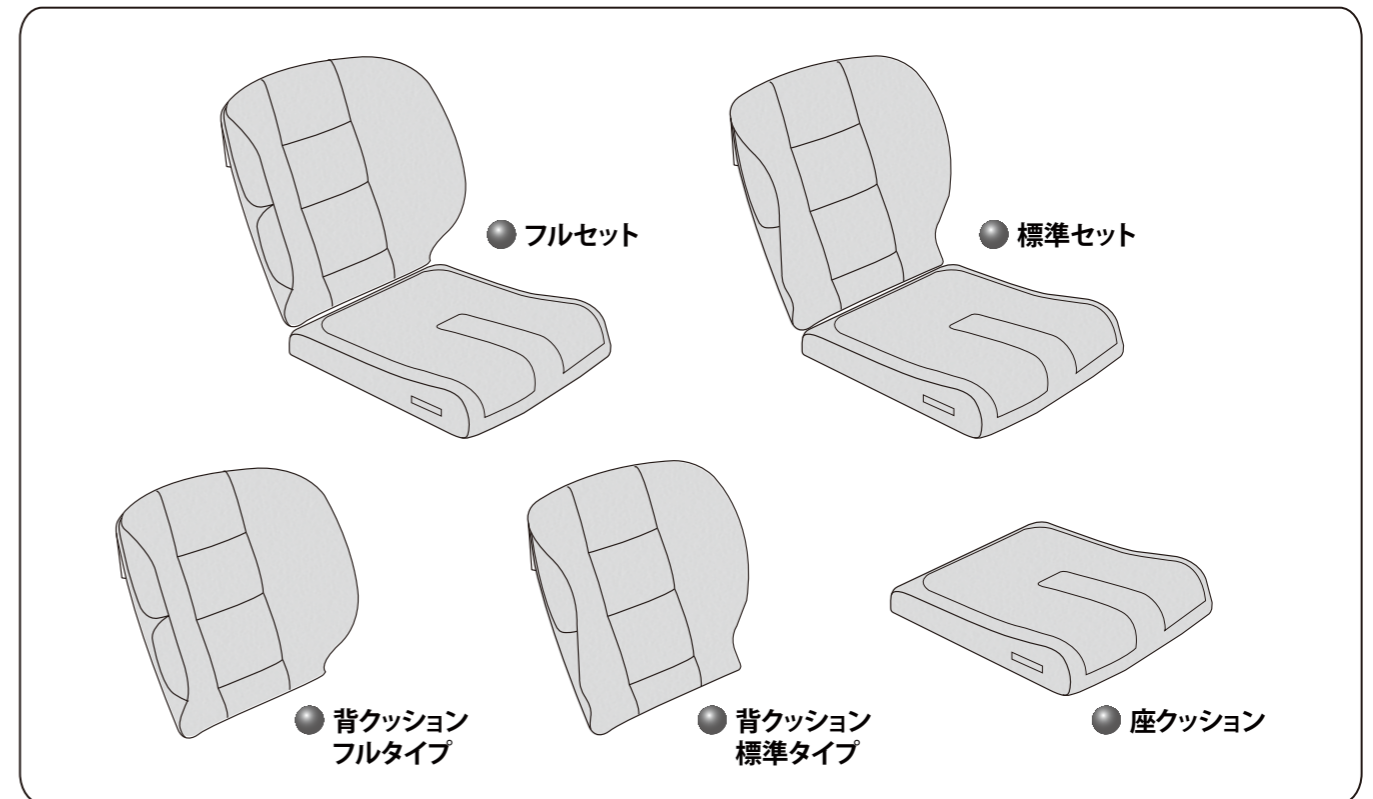
快適な座位姿勢の提供に…

FC-アジャスト



取扱説明書

このたびは、FC-アジャストをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 この「取扱説明書」には、FC-アジャストを正しく安全にお使いいただくための注意事項を記載しています。

- 正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずよくお読みください。
- 必要なときに読めるように大切に保管してください。
- 床ずれができていたり方々で使いやすい方が初めてご使用になる場合は、医師や看護師、PT、OTなどの専門家に相談ください。
- 使用中に異常を感じたり不安を感じた場合には、使用を中止し専門家に相談ください。



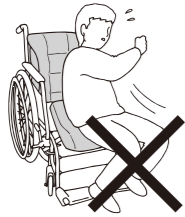
注意事項は、誤った取り扱いをすることによって生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさや切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の二つに区分しています。
 いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
 絵表示についての詳しい説明は下記のとおりです。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人命にかかわる怪我や、重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が怪我を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

アイ・ソネックス 株式会社

警告

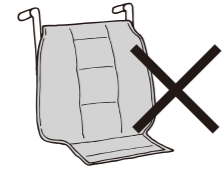
座クッションを車いすの座席にしっかり差し込まないで前方に飛び出した状態で使用しないでください。利用者が車いすから転落する危険性があります。



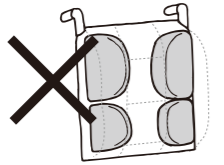
- 座クッションは、車いすシートの奥までしっかり差し込んで設置し、絶対に裏面を表にして使用しないでください。また、カバー洗濯後は、カバーの向きを間違えないようにしてください。誤った使い方をすると、クッション本来の機能が損なわれるだけではなく、床ずれや車いすからの転落、座位姿勢の崩れの原因となります。
- 背クッションの固定ベルトは、確実にロックしてご使用ください。不完全な装着は、クッションからの脱落など、思わぬ事故の原因となります。
- 自動車の座席に乗せて使用しないでください。
- 床ずれができていたりできやすい方が初めてご使用になる場合は、医師や看護師、セラピスト(OT・PT)などの専門家に相談してください。

注意

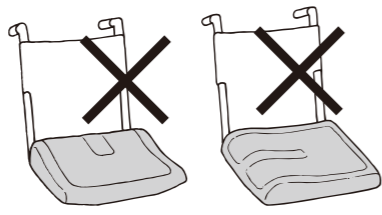
背クッションを車いすの背シートに取り付ける際、上下逆にしないでください。



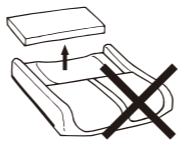
サイドパットや骨盤パットは山型部を内側に向けて使用しないでください。



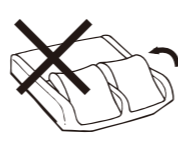
車いすの座シートに座クッションを乗せるとき、前後を逆に入れてたり横に入れてたりしないよう注意してください。



座クッションのクッションパットを外した状態で使用しないでください。



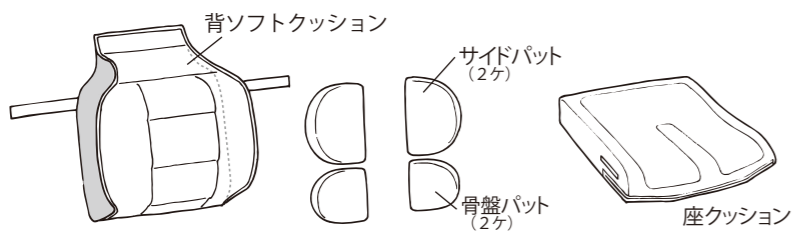
大腿パットは前後逆に入れてください。



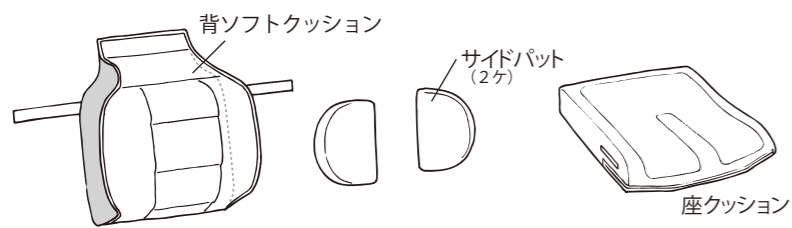
- 必ずカバーをしてご使用ください。また、開口部のファスナーを開けたまま使用しないでください。クッション本来の性能を発揮できないだけでなく、中材が傷みやすくなります。
- 紫外線による劣化を防ぐため、直射日光のあたる場所での長時間の放置・保管は避けてください。
- 火気や鋭利なものは近づけないでください。破損の原因となります。

部品構成と名称

<フルセット>



<標準セット>



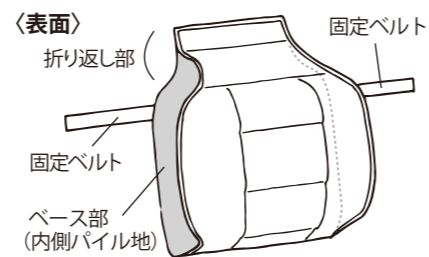
<背クッション フルタイプ>

背ソフトクッション、サイドパット、骨盤パット

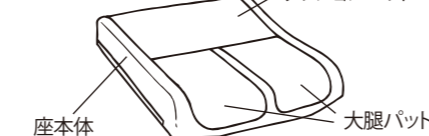
<背クッション 標準タイプ>

背ソフトクッション、サイドパット

<背ソフトクッション>



<座クッション>



●特長

- 背クッションの骨盤パットは、骨盤の後傾や回旋を防ぎ、サイドパットは体幹を両側からサポートします。パットの位置は、体型や症状に合わせて調整することができます。
- 座本体やサイドパット・骨盤パットは、ポリエチレン素材ですので、汗や汚れを吸収せず耐薬品性に優れています。
- 座クッションの大腿パットは着脱式です。車いすを足で駆動される場合、大腿パットを外してご使用いただくと前座面を低くすることができます。

●適合する車いす

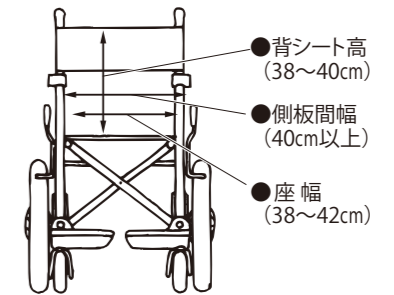
<背クッション>

車いすの背シート幅：40cm 以上
車いす背シートの高さ：38～40cm

車いすの背シートや、肘受けの形状によっては、クッションが適合しない可能性があります。事前にご確認ください。

<座クッション>

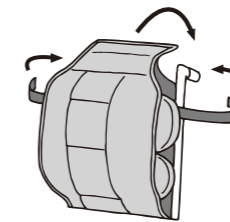
車いすの座幅：38～42cm の範囲
車いす側板の内寸法：40cm 以上



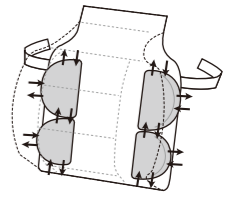
●使用方法

<背クッション>

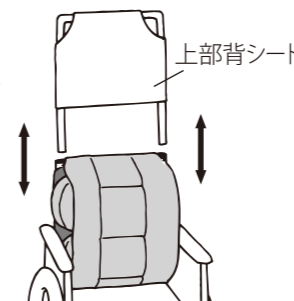
- ①背ソフトクッションの折り返し部を車いすの背シートの裏側に廻し、固定ベルトで折り返し部の面ファスナーにしっかり固定してください。



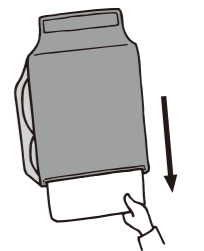
- ②各パットはベース部から着脱できます。取り付け位置を調整する場合、背クッションを側方から開き、体型や症状に合わせて、パットの位置を調整してください。



- 上部背シートを外してから、背クッションを背シートに固定してください。その後、上部背シートを差し込んでください。



- 車いすの背シートが張り調整式の場合や背中のフィット感を高めたい場合は、背クッションのベース部裏面のファスナーを開け、中の背板を抜いてからご使用ください。

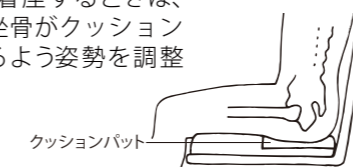


<座クッション>

- ①座クッションの前後を間違えないように確認して、車いすシートの奥までしっかり差し込んでください。



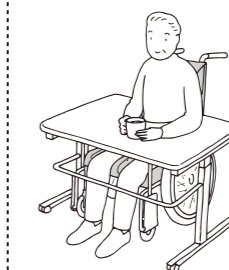
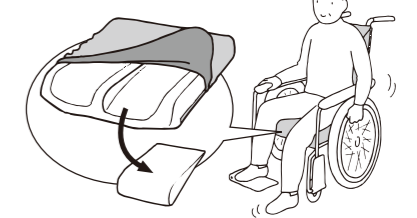
- ②座クッションに着座するときは、必ず、使用者の坐骨がクッションパット内に収まるよう姿勢を調整してください。



※クッションパットは、気温が低くなると硬くなることがありますが、使用者の体温で温まると自然に柔らかくなります。

<大腿パットについて>

- 足で駆動される方の場合、座カバーのファスナーを開けて、駆動する側の大腿パットを取り出し、カバーを閉めてからご使用ください。



- 食事や机上作業をされる場合、左右の大腿パットを外し、車いすの足載せ台から両足を床に降ろしてご使用いただくこともできます。